

おいしいパンにじっくり 県産小麦を使ったパンを給食に

11/5 滝間小学校

県産小麦「さぬきの夢 2009」を使ったパンが詫間町・仁尾町内の幼稚園・小中学校の給食で提供されました。

これは、子どもたちに地元食材の魅力を知らせてもらおうと、香川県パン協同組合が県産小麦を使ったパン約1,600個を学校給食に提供したものです。子どもたちは「もちもちしていて甘い」「いつもよりパンの香りが強い」などとおいしそうにパンを味わいました。



三豊ドリームカーフェスタ 2021

スーパーカーが今年も夢を乗せて やってきた!

11/14 ゆめタウン三豊

今年で8回目を迎えた三豊ドリームカーフェスタには、フェラーリやポルシェ、ランボルギーニなど約80台ものスーパーカーが一堂に集結。開会式後には、市内外の観光名所などを巡り、沿道の人を魅了しました。



ハワイの高校生とオンラインで交流

11/5 高瀬高等学校

高瀬高校2年生が、ハワイの高校ミッド・パシフィック・インスティテュートの生徒とオンラインで交流しました。両校の生徒は、事前に撮影していた学校の紹介や日本やハワイでの過ごし方の動画を互いに見た後、英語や日本語を使って交流しました。授業は11月に計3回行われ、語学学習の貴重な実践の場となりました。



友好都市 韓国陝川郡の中学生と交流

10/12 豊中中学校



市の友好都市である韓国陝川郡の陝川女子中学校と豊中中学校の生徒がオンラインで交流しました。市と陝川郡は友好都市25周年を迎え、5月に行政間でオンライン懇談会を実施。その際に市国際交流協会から、中学生同士の交流を提案し、実現しました。両校の生徒たちは英語で自己紹介を行い、好きな食べ物やアイドルの話で盛り上がりました。

株式会社石井からの寄付

10/4 三豊市役所



株式会社石井から、企業版ふるさと納税として「宝山湖ボールパーク夢いっぱいプロジェクト」に活用してほしいと寄付をいただきました。石井淑雄代表取締役会長は「スポーツを通じた青少年の育成は今後大切なこと。少しでも子どもたちのために役立ててほしい」とご賛同いただきました。

世代を超えた交流! 高校生と地域住民が考える「公民館」

10/30 みとよ未来創造館

市と高瀬高校は、市の取り組みや課題を高校生が自らの視点で見つめ、連携しながら調査研究に取り組む「高瀬高校ミライ塾」事業を行っています。

公民館をテーマに研究するグループでは、高校生と地域住民を対象にワークショップを開催しました。集まったのは、高校生をはじめ、年齢、性別、職業も違う地域住民約30人。初めは緊張していた参加者たちもすぐに打ち解け、どんな公民館があってほしいか、若者に公民館を使ってもらうにはどうしたらいいかなどについて活発にアイデアを出し合いました。

今後は、収集した情報を整理・分析しながら年度末の報告に向けて研究を進めていきます。



▲円卓に思いついたことを自由に書き込みながら話し合いました

みとよHOT ほっとNEWS

ほっとニュースは
市ホームページでも

三豊市 検索



◀食品メーカーの説明では、パッケージの裁断に挑戦!



▲介護事業所の説明では、介護予防体操を体験



▲(左から)この企画を発案した高瀬高校1年の佐々木みゆさん、村川未樹さん、亀野季里さん



▲参加者全員で記念撮影

世の中の仕事について学ぼう!

10/26・29 三野津中学校

三野津中学校では、生徒に仕事について学んでもらうため、2年生を対象に県内事業所による出前授業を開催しました。授業は2日間にわたって行われ、検察官や保育士、ホテル業、エンジニアなど多種多様な職種から8事業者が中学校を訪問し、仕事の魅力や身に付けておくべきことなどをアドバイスしました。

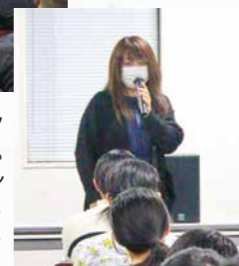


中学生映画制作スクール 完成披露試写会を開催

10/31 危機管理センター

市内中学生20人が参加した映画制作スクールの完成披露試写会が開催され、関係者ら約80人が集まりました。試写会では、完成した2本の映画やメイキング映像を鑑賞したほか、中学生一人ひとりがスクールに参加して感じたことや完成した映画の感想を述べました。

▶映画制作に協力してくれたスタッフも東京から駆け付けました。脚本家の黒沢久子さんは「スクールを通して皆さんの自主性がめばえ、成長が見られた。この映画を多くの人に見てほしい」とあいさつ



▲完成した映画のワンシーン